

宮古市港湾振興ビジョン

令和4年3月

宮 古 市

目 次

1	港湾振興ビジョン策定の趣旨	1
	（１）ビジョン策定の目的、性格等	1
	（２）計画期間	1
2	施策の方向性	2
	（１）宮古港の将来像	2
	（２）宮古港振興の基本戦略	3
	物流・産業 	3
	観光・交流 	4
	安全・安心 	5
	教育・余暇 	5
3	重点施策（コア・プロジェクト）	6
	（１）コア・プロジェクト	6
	（２）重点施策に関する目標指標、目標年次（達成目標）	7
	（３）重点施策展開のスケジュール	8
	【資料】宮古港の概況	9

1 港湾振興ビジョン策定の趣旨

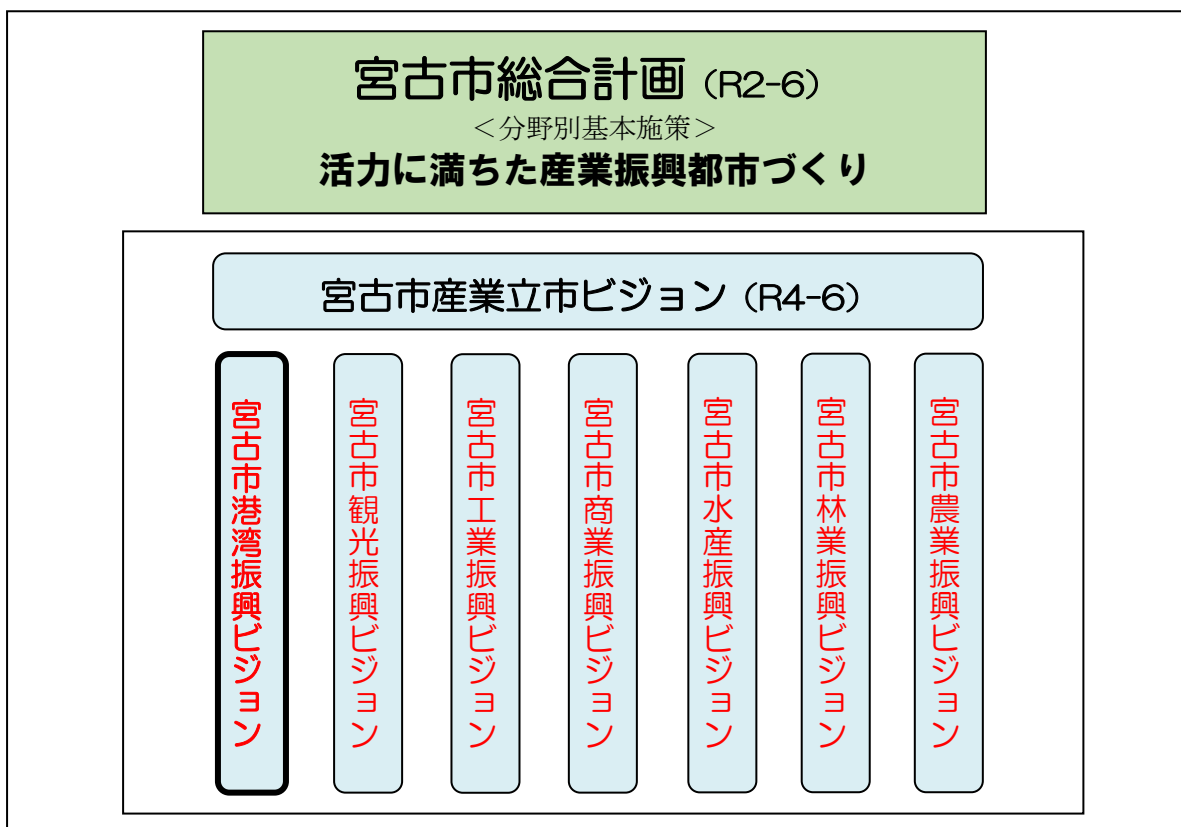
(1) ビジョン策定の目的、性格等

本ビジョンは、宮古市総合計画を上位計画とした「宮古市産業立市ビジョン」の分野別計画で、港湾分野の重点事業（コア・プロジェクト）を定めるものです。

重点事業（コア・プロジェクト）は、港湾管理者である岩手県が令和3年2月に策定した「宮古港長期構想」などの関連計画と調整しながら推進します。

(2) 計画期間

本ビジョンの計画期間は、「宮古市産業立市ビジョン」の計画期間である令和4年度（2022年度）から令和6年度（2024年度）までの3ヵ年とします。



【 宮古市総合計画における港湾分野施策の体系 】

三陸沿岸地域の拠点都市としての基盤形成

【施策】

港湾機能の整備と充実

【基本事業】

- 1 出崎ふ頭先端地区等の整備促進
- 2 海洋レクリエーション施設の整備促進
- 3 物流機能の強化促進
- 4 耐震強化岸壁の整備促進

活力に満ちた産業振興都市づくり

【施策】

港 湾 の 利 用 促 進

【基本事業】

- 1 貨物取扱機能の強化
- 2 港湾の活用

2 施策の方向性

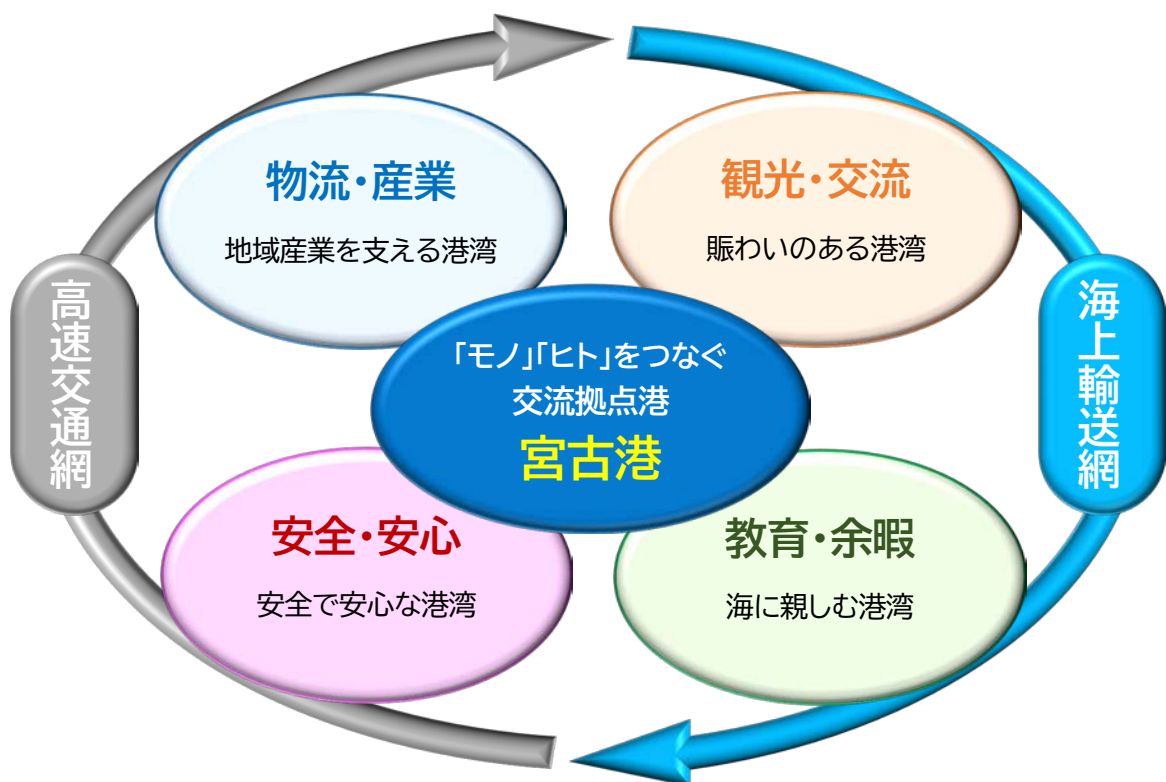
(1) 宮古港の将来像

令和3年に三陸沿岸道路と宮古盛岡横断道路の全線が開通し、三陸沿岸道路沿線で唯一インターチェンジが港湾に直結する宮古港の利便性は飛躍的に向上しました。

今後、宮古港は、高速交通体系と海上交通の結節点として、そのアクセスの良さをアピールするとともに、他港との差別化を図り、優位性を明確に打ち出すことで、内陸部を含めた背後圏と全国各地との「モノ」と「ヒト」のネットワークを形成・強化していく必要があります。

宮古港の将来像は、令和3年2月に岩手県が策定した「宮古港長期構想」で示された以下の4項目を柱とし、地域産業と住民生活を支え、海の玄関口として交流人口の増加を図る「交流拠点港」として発展することで、さらなる港湾や周辺機能の整備・強化につなげ、地域産業の発展に寄与することを目指します。

物流・産業	地域産業を支える港湾 （地域産業に資する港湾機能の向上）
観光・交流	賑わいのある港湾 （観光による地域振興の推進）
安全・安心	安全で安心な港湾 （災害に強い安全安心な港湾機能の強化）
教育・余暇	海に親しむ港湾 （海に親しむ環境の創出）



(2) 宮古港振興の基本戦略

物流・産業

基本施策	施策の方向性
物流拠点の形成	① フェリー航路の早期寄港再開
	② バルク貨物の利用拡大
	③ 既存コンテナ航路の利用ニーズの把握
	④ 新分野（カーボンニュートラル等）での港湾利用促進
	⑤ 新規定期航路の誘致

① フェリー航路の早期寄港再開

- ア) 関係団体等と連携したフェリー運航会社への再開要望の強化
- イ) 利用可能性（潜在需要）貨物の把握・創出
- ウ) 荷主・物流企業のニーズに応じた宮古港利用メリットの明確化と発信の強化
- エ) 港湾機能（静穏度対策、タグボートの常駐維持等）の強化に向けた取り組みの推進
- オ) 藤原ふ頭工業団地等への企業（港湾を利用する製造業・物流拠点等）立地促進
- カ) 物流ルートシフト誘導に向けた取り組み（利便性周知、道路改善要望、物流拠点等の立地等）の推進
- キ) 陸送体制の強化・充実に向けた調査・研究

② バルク貨物の利用拡大

- ア) 利用可能性（潜在需要）貨物の把握・創出
- イ) 港湾利用企業のニーズに応じた宮古港利用メリットの明確化と発信の強化
- ウ) 港湾機能（静穏度対策、上屋・静脈物流施設の整備等）の強化に向けた取り組みの推進
- エ) 貨物の利用形態に応じたふ頭機能の分担、整理に向けた関係機関及び企業との調整
- オ) 既存施設の有効利用、新設臨港道路の整備等による物流効率化の推進に向けた調査・研究
- カ) 藤原ふ頭工業団地等への企業（港湾を利用する製造業・物流拠点等）立地促進
- キ) 「貨物一時預かり港」としての機能強化

③ 既存コンテナ航路の利用ニーズの把握

- ア) 利用可能性（潜在需要）貨物の動向把握

④ 新分野（カーボンニュートラル等）での港湾利用促進

- ア) 再生可能エネルギー（陸上・洋上風力、バイオマス等）や次世代エネルギー（水素、アンモニア等）の資機材・原材料等搬入港としての利用可能性の調査・研究
- イ) I L C 関連の資機材搬入港としての利用可能性の調査・研究

⑤ 新規定期航路の誘致

- ア) 利用可能性（潜在需要）貨物の動向把握
- イ) 新規航路（フェリー、R O R O 船等）の誘致の可能性調査・研究



【宮古港長期構想から引用（20～30 年先のイメージ）】

観光・交流

基本施策	施策の方向性
観光・交流拠点の形成	① クルーズ船受入環境・態勢の強化
	② 出崎地区の利活用促進

① クルーズ船受入環境・態勢の強化

- ア) クルーズ船の寄港増加と大型化に対応した受入環境の強化（新設岸壁の整備、港内交通環境の改善）に向けた検討・調査等の取り組みの推進
- イ) 関係施設・団体、ガイド、通訳、サポーター及び学校等との連携による乗船客、受入側がともに安全で安心できる受入態勢の構築と感染症対策の徹底
- ウ) 多様な乗船客の寄港満足度向上のためのツアーコンテンツの拡充と受入態勢の強化に向けた関係団体・広域自治体との連携した取り組みの推進
- エ) 地元経済への波及効果拡大（「モノ消費」「コト消費」の拡大）を追求した環境整備・メニューの構築
- オ) 船社、船舶代理店、チャーター及びランドオペレーター等との連携強化

② 出崎地区の利活用促進

- ア) 潮だまり、海釣りエリアなど施設の利用促進に向けた情報発信の強化
- イ) 浄土ヶ浜地区及び藤原・神林地区との機能連携による遊覧船の利活用促進と新たな体験などのコンテンツの構築
- ウ) 出崎地区全体の魅力向上に向けた既存施設・イベントとの連携及び水産資源の活用による取り組みの推進



【宮古港長期構想から引用
（20～30 年先のイメージ）】



【宮古港出崎地区先端緑地鳥観図
（岩手県提供）】

安全・安心

基本施策	施策の方向性
防災機能の強化	① 耐震強化岸壁の整備
	② 港内静穏度の向上

① 耐震強化岸壁の整備

ア) 災害に備えた耐震強化岸壁の早急な整備の促進（国・県への要望）

② 港内静穏度の向上

ア) 新設防波堤の整備など港内静穏度向上に必要な対策の早期実施に向けた取り組みの推進（国・県への要望）

教育・余暇

基本施策	施策の方向性
海洋レクリエーション機能の充実	① リアスハーバー宮古の利活用促進
	② 神林木材港の利活用
	③ リアスハーバー宮古外郭施設等の整備促進

① リアスハーバー宮古の利活用促進

ア) 出崎地区との機能連携による新たな体験等コンテンツの構築

イ) 関連施設・団体等との連携による情報発信機能の強化

② 神林木材港の利活用

ア) 様々な機能（木材港、レクリエーション、漁業者）に応じた利用調整と利用状況を勘案した配置計画の作成及び利用ルール・マナーの徹底に向けた取り組みの推進

イ) 木材港機能との効率的な住み分けによる適切な施設配置（新設栈橋の整備等）に向けた検討・調査等の取り組みの推進

ウ) 放置艇対策（保管能力の向上と規制措置等）に関する関係機関等との協議・検討の推進

③ リアスハーバー宮古外郭施設等の整備促進

ア) 静穏度の向上のための「リアスハーバー宮古」前面の防波堤整備の促進（国・県への要望）



【宮古港長期構想から引用
(20~30年先のイメージ)】

3 重点施策（コア・プロジェクト）

（１）コア・プロジェクト

宮古市総合計画における「港湾機能の整備と充実」と「港湾の利用促進」を図るため、次のようにコア・プロジェクトを定め、計画期間内での取り組みを推進します。

重点施策	施策の内容	具体例等
1 フェリー航路 早期再開	(1)フェリー運航会社への再開要望の強化 (2)貨物動向とニーズの把握 (3)寄港再開に必要な環境の整備 (4)関係機関等との連携強化	①船社・関係機関等との情報共有体制の維持・強化 ②貨物・物流動向調査結果に基づく宮古港利用可能性貨物・企業のリスト化 ③利用可能性企業へのポートセールスの推進 ④トライアル寄港等の実証事業実施に向けた検討 ⑤港湾機能（タグボート含む）の維持・強化 ⑥室蘭市との事業連携
2 物流機能強化 促進	(1)貨物動向とニーズの把握 (2)港湾利用企業・地元企業との連携強化 (3)港湾利用企業・物流拠点等の新規立地に向けた取り組み強化 (4)港湾利用促進のためのインセンティブ等の見直し (5)再生可能エネルギー資機材等搬入港としての利用可能性の調査・研究	①貨物・物流動向調査結果を踏まえた貨物増加戦略の構築 ②貨物創出に向けた研究 ③貨物増加戦略に基づくポートセールスの推進 ④補助メニューの周知及びニーズに応じた見直し ⑤港湾利用企業の立地促進 ⑥既存施設の機能分担及び港湾機能強化の推進 ⑦再生可能エネルギーの推進と港湾利用に向けた調査・研究
3 クルーズ船 誘致	(1)受入環境・態勢の強化 (2)上質な寄港地観光造成に向けた関係団体等との連携強化 (3)地域への波及効果拡大のための環境整備 (4)船社等への情報発信強化	①感染症対策ガイドラインに則った受入態勢の構築と関係団体等への周知 ②関係団体及び広域自治体と連携したツアーコンテンツの造成・磨き上げ ③消費拡大のための環境整備と体験等メニューの充実

		④ポートセールス及び媒体等を通じた情報発信の強化
4 港湾からの賑わい創出	(1)出崎地区の魅力向上 (2)港湾施設の連携強化 (3)神林木材港の施設配置の整理に向けた検討 (4)フェリーターミナルの利活用促進	①出崎地区施設の利用促進事業の実施 ②遊覧船の利活用促進 ③出崎地区、浄土ヶ浜地区、神林地区をつなぐ体験メニューの造成 ④木材港機能との効率的な住み分けによる施設配置の整理に向けた関係機関・団体との協議等取り組みの推進 ⑤放置艇対策のための関係機関・団体との調整の実施 ⑥フェリーターミナルを活用した港湾関係事業等の実施

(2) 重点施策に関する目標指標、目標年次（達成目標）

コア・プロジェクトの推進のため、宮古市総合計画（実施計画）との整合性を図りながら、施策に関する目標指標、目標年次（達成目標）を定めます。

	施策名	関連する目標指標	参考値 (H25)	現状値 (H30)	目標値 (R6)
1	フェリー航路早期再開	誘致航路数	0航路	1航路	2航路
2	物流機能強化促進	港湾取扱貨物量	442千t	730千t	800千t
		一時預かり貨物取扱補助額	160.8万円	454.5万円	500.0万円
		県営上屋の整備	—	未着手	着手
		誘致企業数	0件	0件	1件
3	クルーズ船誘致	客船寄港回数	4回	5回	8回
4	港湾からの賑わい創出	リアスハーバー宮古外郭施設の整備	—	未着手	着手

※宮古市総合計画の目標指標、目標値をコア・プロジェクトの重点施策と関連付けたもの

(3) 重点施策展開のスケジュール

コア・プロジェクトは、次のスケジュールにより取り組みを推進します。

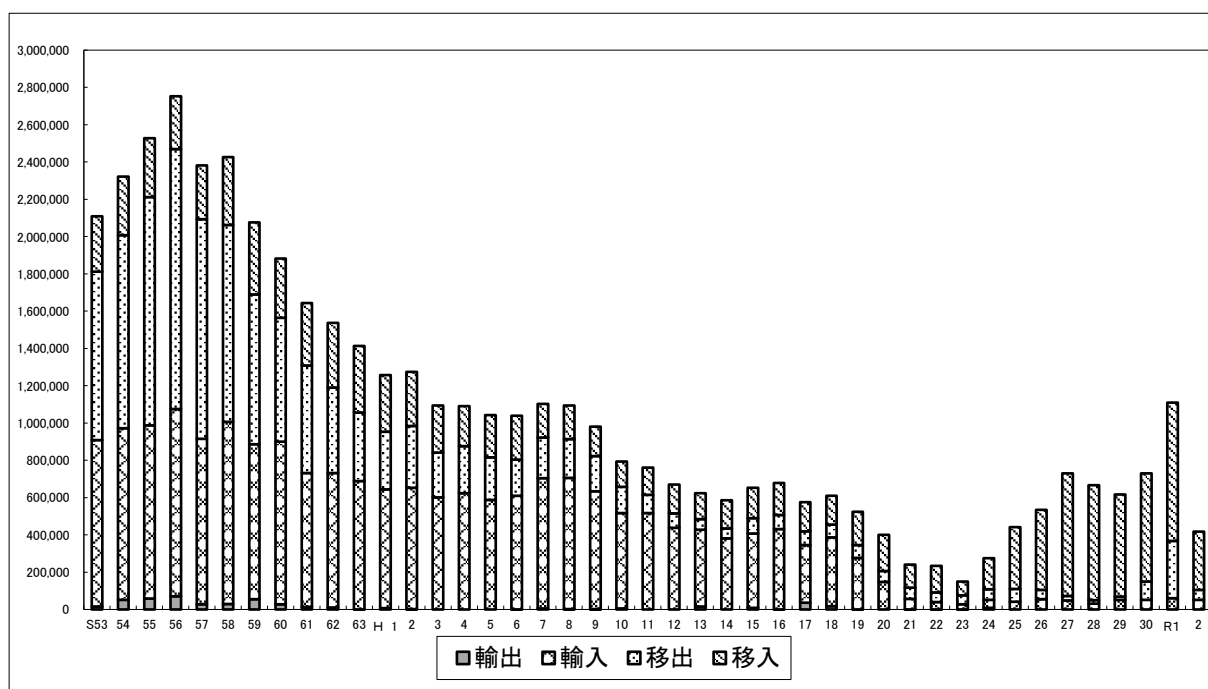
重点目標／施策	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
1 フェリー航路早期再開			
① 情報共有体制の維持強化			
② 貨物・物流動向調査結果の分析			
③ 再開要望・ポートセールスの推進			
④ 実証事業等の実施			
⑤ 港湾機能の維持・強化			
⑥ 室蘭市との事業連携			
2 物流機能強化促進			
① 貨物増加戦略の構築			
② 貨物創出に向けた研究			
③ ポートセールスの推進			
④ 補助メニューの見直し			
⑤ 港湾利用企業の立地			
⑥ 港湾機能の強化			
⑦ 再生可能エネルギー関連の研究			
3 クルーズ船誘致			
①② 関係団体等との連携会議の開催			
③ 環境整備と体験メニューの充実等			
④ 情報発信			
4 港湾からの賑わい創出			
① 施設利用促進事業の実施			
② 遊覧船を活用した取り組みの実施			
③ 体験メニューの造成			
④ 施設配置の整理に向けた協議			
⑤ 放置艇対策に向けた調整			
⑥ 港湾関係事業の実施			

【資料】宮古港の概況

1 海上出入貨物の状況（年次比較表）

（単位：トン）

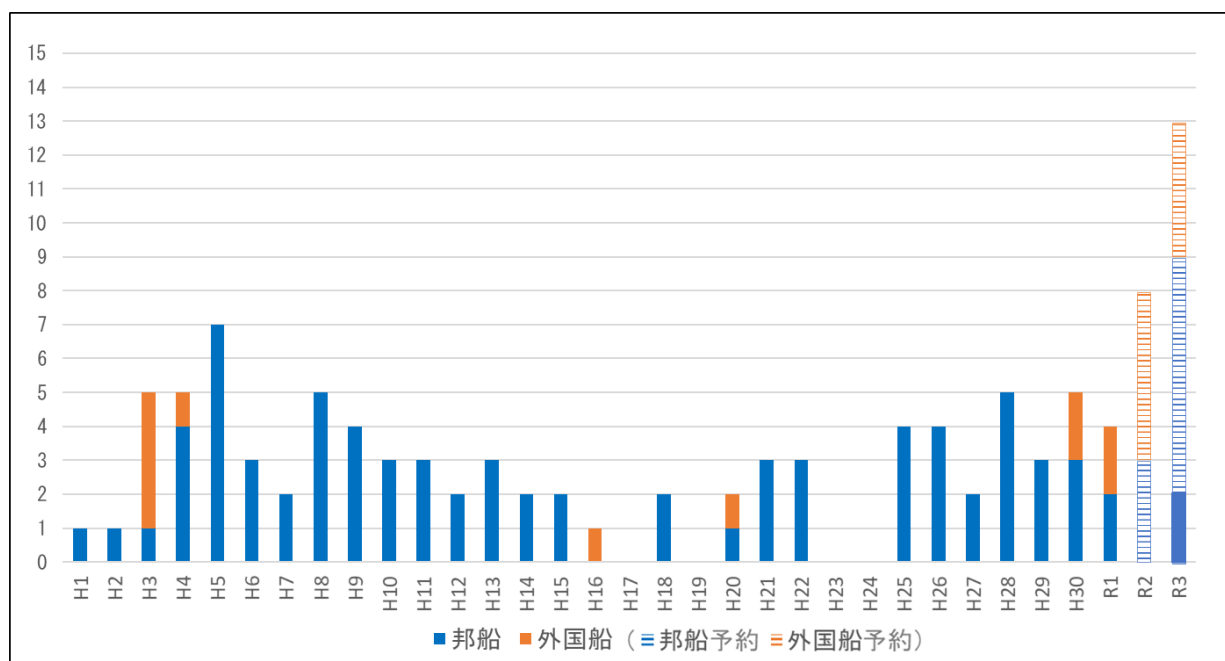
	外 貿			内 貿			合 計
	輸 出	輸 入	計	移 出	移 入	計	
S53	15,420	893,760	909,180	902,605	296,305	1,198,910	2,108,090
54	52,677	919,840	972,517	1,035,032	314,971	1,350,003	2,322,520
55	58,596	929,636	988,232	1,223,379	316,155	1,539,534	2,527,766
56	71,431	1,002,989	1,074,420	1,395,039	283,974	1,679,013	2,753,433
57	27,825	888,111	915,936	1,177,117	288,077	1,465,194	2,381,130
58	28,806	976,988	1,005,794	1,055,825	364,747	1,420,572	2,426,366
59	54,853	832,211	887,064	802,734	385,930	1,188,664	2,075,728
60	27,950	871,831	899,781	665,559	315,980	981,539	1,881,320
61	14,200	718,132	732,332	576,310	335,406	911,716	1,644,048
62	10,450	722,098	732,548	457,200	346,502	803,702	1,536,250
63	500	688,956	689,456	367,321	356,900	724,221	1,413,677
H1	7,800	636,080	643,880	310,045	302,971	613,016	1,256,896
2	1,400	651,860	653,260	331,668	288,900	620,568	1,273,828
3		600,774	600,774	241,716	251,479	493,195	1,093,969
4		624,276	624,276	252,301	214,323	466,624	1,090,900
5		587,406	587,406	227,829	227,469	455,298	1,042,704
6	970	608,553	609,523	194,658	234,286	428,944	1,038,467
7	5,945	697,625	703,570	218,750	179,589	398,339	1,101,909
8	1,959	703,635	705,594	207,338	181,725	389,063	1,094,657
9	2,108	632,393	634,501	188,927	157,338	346,265	980,766
10	5,945	511,062	517,007	141,518	135,453	276,971	793,978
11		517,771	517,771	97,722	144,741	242,463	760,234
12		437,873	437,873	78,321	153,522	231,843	669,716
13	15,000	412,681	427,681	57,423	137,788	195,211	622,892
14		381,644	381,644	53,326	151,536	204,862	586,506
15	9,000	398,229	407,229	82,808	162,860	245,668	652,897
16	179	430,949	431,128	75,155	172,161	247,316	678,444
17	36,000	309,223	345,223	73,223	157,820	231,043	576,266
18	18,000	367,881	385,881	68,777	155,985	224,762	610,643
19	126	275,946	276,072	69,876	178,121	247,997	524,069
20		148,226	148,226	58,910	192,474	251,384	399,610
21	3	56,432	56,435	60,115	123,325	183,440	239,875
22	300	38,965	39,265	51,709	142,997	194,706	233,971
23	305	27,520	27,825	47,571	74,746	122,317	150,142
24	9,218	42,414	51,632	56,949	166,853	223,802	275,434
25		42,363	42,363	67,878	331,396	399,274	441,637
26		55,758	55,758	49,915	427,812	477,727	533,485
27		47,745	47,745	24,498	657,958	682,456	730,201
28		31,782	31,782	18,838	616,254	635,092	666,874
29		52,329	52,329	16,148	548,585	564,733	617,062
30		51,200	51,200	97,977	581,252	679,229	730,429
R1		60,530	60,530	308,048	741,378	1,049,426	1,109,956
2		51,651	51,651	52,884	313,745	366,629	418,280



出典 令和2年岩手県港湾統計年報（岩手県県土整備部港湾課）

2 クルーズ船寄港数の推移

（単位：回）



※R2、R3の予約数は、船社ホームページでクルーズが正式に発表（販売）されたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったもの（バス予約のみのものは含めない）